

デジタルSAGA官民共創セミナー2024

DXで地域の課題解決を目指す アイデアを大募集

デジタルSAGA官民共創セミナーとは

本セミナーは、官民共創の先進的な事例を共有するとともに、自治体、企業・団体等、市民がそれぞれの立場を超え、地域課題解決のアイデアを創出するための機会として開催するものです。

県内自治体DX担当者は、既に第1回dx21研究会で、最先端のデジタル技術やデータ利活用、データ連携により解決できそうな地域課題についてグループ討議を行い、3つのテーマを設定しました。これらのテーマ及び解決すべき課題について、企業や団体の皆さまから解決につながるアイデアやサービスを御提案いただきたく募集いたします。たくさんの御応募をお待ちしております。

募集テーマ



防災

～みんなの命を守る～



ヘルスケア

～みんなの健康寿命を延ばす～



空き家

～みんなで活用を考える～

自治体のリアルな課題は、裏面に記載しています。

募集要項

企業や団体の皆さまからの、課題解決に向けた提案を募集します。応募専用フォームより、必要事項を記入のうえ、御応募ください。複数テーマに課題解決を提案いただく場合、複数回に分けて回答をお願いします。

応募期間

締め切り

令和6年7月31日(水)まで

採択件数

9件程度

採択された方には、8月22日(木)にセミナー内で、5分程度のプレゼンテーションを行っていただく予定です。



01 防災～みんなの命を守る～

気候変動などの影響もあり、地域における防災減災対策は喫緊の課題になっています。一方で、デジタル技術やデータ利活用面、いわゆる防災DXは、まだ取り組みが十分に進んでおらず課題山積です。この問題を掘り下げると、以下のような解決すべき課題があるのではないかという意見が、各自治体担当者からは挙げられています。これらの課題を解決できる様々なアイデアを募集します。

課題

- 情報の一元化とリアルタイム共有ができていない
- 防災・減災に関する意識啓発が必要
- 防災DXに関する知識と技術を持つ人材育成が必要
- 復旧迅速化のための様々なリソース管理、最適化
- 防災分野でのマイナンバーカード活用

02 ヘルスケア～みんなの健康寿命を延ばす～

日本は平均寿命も健康寿命も世界一だと言われています。一方、2つの寿命の差は10.2年で、世界で33位というデータがあります。これは不健康な期間が長いということになり、この短縮は大きな課題です。佐賀県では、SAGATOCOというウォーキングアプリを導入し、健康寿命の延伸につなげるべく展開しています。これらのデータも活用しながら、佐賀県民の健康寿命を延ばし、ひいては医療費縮減等につながる施策を実施していく必要があります。様々なアイデアを募集します。

課題

- SAGATOCOで蓄積されたデータの活用（他データとの連携など）
- ウェアラブルデバイスをはじめIoT等の有効活用
- 地域医療との連携体制
- デジタルプラットフォームを活用した健康教育、啓発活動
- シニア向けの健康面でのデジタルサポート

03 空き家～みんなで活用を考える～

これから訪れる縮小社会では、少子高齢化、世帯数減に伴い、急激に空き家が増加することが予測されています。これらの空き家を有効活用するための取り組みが自治体単位では始まっていますが、まだ地域間で取り組みの温度差がある現状があります。空き家調査、空き家バンク、他事業との連携など様々な既存の取り組みに、デジタル技術や各種データ利活用の要素を取り入れることで、新たな解決策を見いだすような施策のアイデアやサービスを募集します。

課題

- 空き家の把握を効率的に行うことができていない
- 所有者の管理意識の啓発が必要
- 地域の環境保全の観点からの空き家管理
- 空き家バンク制度の機能、サービス拡張
- 住民協働による課題解決手法の創出